

令和3年12月

## 橋本市教育委員会定例会会議録

令和3年12月21日

## 教育委員会定例会会議録

開催日時 令和3年12月21日(火) 午前9時30分～

開催場所 教育文化会館 4階 第5展示室

出席委員 教育長職務代理者 中尾 悦子  
委 員 田中 敬子 藪下 純男 吉田 元信  
教 育 長 今田 実

出席職員 教育部長 阪口 浩章 教育総務課 課長 正林 寿和  
学校教育課 課長 森口 伸吾 生涯学習課 課長 萱野 健治  
中央公民館 館長 深本 恵里 教育相談センター  
教育総務課 課長補佐 浦 貴則 センター長 林 民和  
教育総務課 青少年センター  
企画総務係長 久保田 芳弘 センター長補佐 大野 恵章

### 1 開会

### 2 前回会議録の承認について

### 3 会議録署名委員の指名について

### 4 報 告 事 項

報告第1号 教育状況について

報告第2号 柱本小学校内への(仮称)岡潔記念館の設置並びに柱本地区学童保育所の移設について

### 5 付 議 事 項

議案第1号 令和3年度杉村奨学褒賞及び田中久美子すこやか褒賞受賞者の選考について

議案第2号 令和3年度森脇慶一郎善行褒賞受賞者の選考について

### 6 そ の 他

・協議事項

・連絡事項

開会 午前 9 時 30 分

教育長 おはようございます。  
全員お揃いですので、12 月定例会を開会します。  
前回の会議録の承認について、吉田委員、お願いします。

吉田委員 正確に記載されていきました。

教育長 ありがとうございます。  
次に、今回の会議録署名委員は、田中委員にお願いします。

田中委員 かしこまりました。

教育長 報告第 1 号教育状況について、私から報告します。

11 月 26 日に行われた高野口小学校と泰山外国語学校との交流、12 月 13 日に行われた清水小学校とパラグアイ県人会との交流について報告します。

まず、高野口小学校については、次世代の日中友好を担う青少年の友好を深めることを目的に、高野口小学校五年生 47 名と泰山外国語学校四年生 50 名が、オンライン交流を行いました。高野口小学校の児童は、事前に紹介動画を作成し、学校や郷土について紹介しました。泰山外国語学校からは、武術や学校について紹介がありました。その後、互いに質問を行い、交流を深めました。

次に、清水小学校については、パラグアイに移住した方の子孫に当たる人との交流を持つことで移民について知るとともに、世界に目を向けるきっかけとすることを目的に、清水小学校全校児童 67 名とパラグアイ県人会が、オンラインで交流を行いました。清水小学校からは、生活科・総合的な学習の時間に地域学習で学んだことを、動画や写真を見せながら発表しました。また、二年生の児童が生活科で学んだおもちゃ作りをオンラインで一緒にしました。五年生は、季語を入れた俳句を作り発表しました。

両校とも、発信力を付けたり季節感や文化を感じたりするなど、オンラインならではの交流、そして、学びの時間になりました。

次に、令和 3 年度ジュニア活性化事業について報告します。

ジュニア活性化事業は、和歌山県体育協会、橋本市体育協会、橋本市ソフトボール協会が主催する事業です。東京 2020 オリンピックソフトボールで金メダルを獲得した選手をはじめ、日本を代表する選手に指導を受けることで、将来の目標を高く持たせたり、近隣の選手との交流を図ったりすることを目的としています。

今回は、北京オリンピック、東京 2020 オリンピックで金メダルを獲得した山田恵里選手、アジア大会で銀メダルを獲得した洲鎌夏子選手、世界ジュニアで銀メダルを獲得した原奈々選手の 3 名が、12 月 11 日、12 日の 2 日間高野口小学校、あやの台小学校を会場に、指導に当たってくださいました。市内の小学生、中学生、近隣の高校生等が参加し、ウォーミングアップからピッチング、守備等を丁寧に指導くださいました。

今回の事業がきっかけとなり、柱本小学校出身の内藤実穂選手に次ぐ方が橋本市から生まれたらと、期待を膨らませる事業でした。

次に、第 21 回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会の選考会について報告します。

12 月 4 日、5 日、11 日、12 日の 4 日間にわたり選考会を実施しました。小学校は

男女合わせて7校から22名、中学校は6校から23名の参加がありました。タイムトライアルの結果を受け、小学生男子5名、小学生女子5名、中学生男子7名、中学生女子7名の計24名を大会出場者として選考しました。令和4年2月20日に開催される大会に向け、今後も練習を続ける予定です。

以上で教育状況について、報告を終わります。

このことについて、ご質問・ご意見はありませんか。

中尾委員                   この交流会、授業になるんですか。

教育長                     そうです。

中尾委員                   これから進めていく、GIGAスクールに関連した授業のようにも思います。  
このことについて、子どもたちは、これから自分たちが学ぼうとしていることがわかるのではないかと思いました。素晴らしい授業をしてくださったなと思います。

教育長                     ありがとうございます。オンラインで映像を通じてやり取りをしますと、実際に会って話をすることと比べると、やはり違いはあろうかと思うのですが、今までになかった交流会になったと思います。イベント的に交流会をするのではなく、学校がこのことを通じて例えば、調べたりとか、発信したり、表現したりとかそういう力を付けようという目的をもってやってくれていますので、GIGA構想そのものの目的に合致した授業にもしていただいていると思います。

吉田委員                   私もオンラインでの交流というのは、非常に今後に向けても進めてもらいたいなと思います。それでちょっとお聞きしたいのですが、高野口小学校と泰山小学校での交流は、使われた言語はどのような形でされたのですか。

学校教育課  
課長補佐  
主任指導主事             当日は双方とも通訳が入りまして、相手の言語に翻訳したものを相手方に流すという形をとってございました。

吉田委員                   それでコミュニケーションがスムーズに取れたということですね。  
同じことというか翻訳も含めてでも問題ないと思うのですが、要するに英語ですね。そういうのも今後も活発に進めてもらえればと思います。よろしくお願ひします。

教育長                     ありがとうございます。本当に子どもが通訳を通じてではなく、直接会話ができるようになったら、それは素晴らしいことだと思います。今回は、この二つの学校紹介をさせていただいたのですが、これ以外にもオンラインで、講演で話を聞かせてもらったりとか、そういうことも行ったりしております。他にも交流はあるのですが、最近行った特徴のあったものを紹介させていただきました。今後も、こういった事例をお知らせするような内容のものがありましたら、伝えさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

他にありませんか。

田中委員                   私もGIGAスクールというか、その交流はすごく良いことだなと思いました。また、中学生の子どもたちが活きた英語を使えるようになれば、もっと良いなっていくの

が感想です。

スポーツ交流会も憧れの選手に会うことによって、ちょっと刺激を受けたので、またその良い影響が広がっていったら良いなと思います。あと一点、筒香選手がアドバイザーになっているのですが、今後、何か予定していることとかはありますか。

教育長

二点あったと思うのですが、まず一点目について、私も二日目に実際に行かせてもらって様子を見せてもらったのですが、あの3人が居るだけで、存在感というか、やっぱりオーラがあります。一緒に動いている子どもたちの様子が生き生きしているように思いました。そして何よりも、ガチガチにトレーニングするとかではなく、楽しみながら、要領を得たというか、良いトレーニングを経験させてもらっているなとそんなふうに思いました。それを身近に感じてくれた事業がすごく嬉しい、一言ひとこと声を掛けられている子が何人もいたので、その子たちがどう感じているかということ。それが、今後活かしてもらえたらなとそんなふうに思いました。二点目について、生涯学習課長。

生涯学習課 課長

はい。筒香選手に例年来てもらって、スポーツ推進事業というのをやっております。今年度は残念ながらコロナの関係で、上手く調整が出来なかったということがありまして、一旦中止とさせていただいております。開催に向けて、いろいろ話し合いは続けてきましたので、来年度に向けて良い内容で出来るように進めたいということ考えています。

教育長

他にありませんか。

ないようですので、これで報告第1号を終わります。

次に、報告第2号に入ります。

報告第2号柱本小学校内への（仮称）岡潔記念館の設置並びに柱本地区学童保育所の移設について、報告を行います。

事務局から説明願います。

教育総務課 課長

はい。本件の前に資料の確認をさせていただきます。

本件については、資料2-2から裏表で2-3、2-4、2-5、6、7までですが、裏の白いページのところがあるって見つかったので、皆さんのお手元にある資料、今言った数字全部印刷されていますでしょうか。

それでは、柱本小学校内への（仮称）岡潔記念館の設置並びに柱本地区学童保育所の移設について、教育総務課と生涯学習課から報告させていただきます。

この件については、去る12月14日に令和3年12月市議会定例会の文教厚生委員会において報告した案件になっています。

添付の資料は、その時にお示しした資料をそのまま付けさせていただいております。それではまず、教育総務課から説明します。1枚捲っていただきまして、大きな1番。柱本地区学童保育所の移設についてということで、まず現状と課題。柱本小学校のグラウンドの北端に平成11年に建築されております。現在の学童保育所の位置です。この位置については、現在の位置が北の端、学校の端のほうに位置しておるといところでございます。故に学童保育所に通所するには、グラウンドを歩いて行かないとならないということで、課題として三つ挙げられております。駐車場から学童保育所まで長距離であること、夜間は暗く危険であること、雨の日はグラウンドがぬかるむというようなことで、保護者や運営団体から小学校校舎内への移設を求める声が以前から寄せられておるといような状況であります。

次に方針として、教育委員会、柱本小学校、学童の運営団体に協議をして、柱本小学校内の余裕教室に移設をするということで合意しております。移設の予定場所は、北校舎2階の西端の多目的教室です。資料は、2-5の丸で囲ったところの位置です。

移設に要する経費として、概算で設計費を含んで790万円。

整備の内容は、床の張替え、エアコン、流し台、洗濯機防水パン、給排水、外灯の設置というようなことです。

スケジュールとしては、令和4年度に設計・工事を実施し、出来るだけ早期に移設を完了したいということで考えております。1番については以上です。

生涯学習課 課長

続きまして、2-6にあります、2番(仮称)岡潔記念館の設置について説明させていただきます。

設置の目的としましては、岡潔博士を顕彰する活動の一環として、(仮称)岡潔記念館を設置する。世界的数学者岡潔博士を輩出した橋本市で、「算数・数学が楽しい」「算数・数学がおもしろい」と感じる子どもたちが一人でも多く育つよう、数学教育の推進を中心に文化を育むまちづくりを進めることを目的とするとしています。

設置場所につきましては、柱本小学校内の3教室を利用することを考えております。うち1部屋は学校との共用ということで研修・会議等に使用したいと考えております。図面のおりでありまして、1階南側校舎の西側から3教室を使う、入口は別途設けるという予定で考えております。

コンセプトとしましては、岡潔博士を顕彰するだけでなく、学校内に設置することを活かして、市内小中学生の算数・数学力の向上に資する施設にしたいと考えています。岡潔博士を顕彰する内容の展示というのはもちろんですが、数学を体験出来るような教材等も展示して、子どもたちがそれを体験することで算数・数学に興味を持ってもらえるような展示が出来ればと考えております。また、岡潔博士の顕彰事業、或いは数学教室などの数学力の向上に係る事業も実施していきたいというふうに考えています。名称については未定ですが、例えば岡潔博士数学体験館といった名称を公募も含めて今後、検討していきたいと考えています。

スケジュールとしては、令和4年度当初予算に関連予算を計上予定ということですが、今の段階ではまだ予算が付いたという段階ではありませんので、4年度の予算に要望をしている段階です。4年度の当初予算に通れば、先程の学童と同じようなスケジュールで、4年度中に設計・工事に入って、5年度の秋に完成するようなイメージで進めたいと考えております。これはあくまで今時点のことで、予算が付けばということになります。

運営につきましては、指定管理するということを想定しています。

運営に係る業務内容としましては、書いてあるとおり利用に関する業務、利用促進に関する業務、岡潔博士の顕彰事業のほか、数学教室など市内小中学生向けの算数・数学力の向上に係る事業の実施などとしております。

課題としては、展示内容や運営方法の詳細の検討、学校内に設置することに必要となる防犯対策等がありますが、地元や学校関係者、顕彰団体等と協議をして皆さんの意見等を聞きながら検討を進めていきたいと考えております。

説明は以上です。

教育長

報告が終わりました。このことについて、ご質問・ご意見はありませんか。

田中委員

すみません。ちょっと配置がわかりにくかったので、昨日、柱本小学校に見に行かせていただいたのですが、学童については確かに今の場所であれば、保護者の方はグ

ランドがぬかるんだりして危ないということは実感したので、移設するのは良いと思います。それで場所ですが、2階ということになっています。どんな感じかと思ったら、外階段があって途中まで雨が凄げるのでお迎えは今のところよりだいぶ良いなということと、2階なので出来ればインターフォンか何か付けてもらったら、もっとスムーズに行くのかなと感じました。

もう一点、2階から運動場が見渡せるので、子どもたちが遊んでいる時は2階から見守れるので、学童の場所、今から決められると思うのですが、学童の部屋からでも子どもたちが見守れるような場所が良いのかなということを意見させていただきます。

教育長

ありがとうございます。

吉田委員

岡潔記念館の設置についてですが、設置についての運動がこれまで長く行われているということは十分理解しています。ただ先月、学校施設の問題とかでも話を少しさせてもらいましたが、やはりこの記念事業というのか、少なくとも意義は認められますけれども、今後の施設運営だとか或いは今現在進められようとしている郷土資料館ですね。その郷土資料館の中でも、岡潔さんの顕彰の記録とかも展示はされています。

そういう意味ではこの岡潔記念館また、前畑秀子資料館だとか幾つかの動きがある中で、既に郷土資料館にはそういう偉人を顕彰するための展示があるので、やはりそこを活かすような形では考えられないのかというふうには強く思います。

実際に郷土資料館ですけども、複数の方の展示によって、多くの入館者を呼び込むということも可能だと思いますし、造ったはいいが、じゃあどうやって維持していくんだという施設の問題、人の問題とかそういうことをやはり危惧します。

そういう意味では、今既にある郷土資料館をこの岡潔さんまた前畑さん、そういったところでやっていただければなと思います。2-6の一番最後にある「岡潔博士の顕彰事業ほか、数学教室等」でこれは、顕彰事業とそういう数学事業を活性化する、もちろん同じところでやれば良いかもしれないですけども、必ずしも同じ場所でやらないといけないというわけではないと思うので、進めるよりはこれまでの施設の中でちょっと繰り返しになりますけれども、郷土資料館の中でどういうふうに展開出来るか、そういうことで検討いただけたほうが良いのではないかと強く思います。

生涯学習課 課長

おっしゃることは、よくわかります。

この岡潔博士の顕彰事業については、もう平成11年から市が方針を決めて設立を進めてきました。

また、岡潔博士の岡潔顕彰基金というのを作って、寄付等を募集して資金等をたくさんの方からこれまで寄付いただいております。今では1,000万円弱合計で集まっているような状況です。それで、この当初からもう顕彰事業に当てるためとなっていたのですが、実質的には記念館を設立しようという思いで始めたということもありますし、場所を決めるという段階で、これまで杉村公園内という案があったり、まあそれは遊具の関係で駄目やった。或いは柱本地区内の民家が2軒あったんですが、そこも駄目になってきて、計画がある中で今回は、柱本が岡潔さんの聖地というか、そういうことで進められているということもあるので、柱本地区内にシンボリックな施設を設立したいという思いで、柱本小学校内と提案させていただきました。学校内に設置するというところで、議会でも質問があったのですが、特に防犯対策については

万全を期するということも当然ありますので、その辺をもう少し運営面も含めて詰めていかなあかんと考えているんですけど、そういう流れの中で特に岡潔博士につきましては、記念館といいますか、想いとしたら数学体験館、顕彰するだけではなしに数学の町づくりということで進めていく上でシンボルになるような施設という意味合いで考えているところです。

おっしゃってくださった事業云々につきましては、今も数学 WAVE さんが例えば、文化会館内でいろんな教室をしておりますので、そこで柱本小学校内で事業をするということではなしに、こういった文化会館等も利用しながら算数教室・数学教室なんかも開けるんじゃないかなというふうに考えています。

それと、展示内容を文化財保護審議会に専門部会を作っていただいて、そちらで意見を聞きながら進めております。なかなかご存知のとおり、新資料館につきましては、あさもよし歴史館と現の資料館を統合した施設ということで、有利な起債を受けるためということですが、それらを合計した面積よりも狭くしないといけないという条件があります。

そんな中で展示内容については、まだまだこれから詰めていくところですけど、偉人顕彰というのは、コーナーはもちろん設けるつもりですが、どこまで設置出来るかというのはわかりませんし、岡潔記念館につきましては、岡潔さんの業績を展示するというに重きを置いた施設ではなくて、子どもたち、大人もそうですが来てただただ算数や数学に興味をもってもらえるような教材等も設置して、体験館的な施設にしたいなと考えております。おっしゃってくださったように、防犯面或いは運営面、集客施設として相応しいのかということも含めて、今後も詰めていく必要があるのかなと考えています。現在のところ以上です。

吉田委員

財政的にも、今後の運営とかも含めて余裕があるのであれば良いと思います。記念館の設置に向けての活動というのも十分よくわかっています。そして今説明していただいたように、寄付金も集まっているということもよくわかるのですが、やはり既に計画に上がっている郷土資料館の中で、そういう数学教育云々の学習資料の展示も含めて講演会とか、もちろん別の場所でも良いと思うのですが、何かその郷土資料館の中で何とかこう利用出来る道があるんじゃないかというふうには思います。

造ってもらったのは良いが、後々維持管理をどうしていくんだということが、もう見えてくるように思うんですよ。それはやっぱり十分考えていただければと思います。

実際に岐阜県の本巣市に、ご存知かどうかですけれども、高木貞治さんという解析学の研究者がその出身で記念館を偶々見に行きました。これが記念館だけじゃなくて、岐阜県の本巣市は富有柿の産地というか、富有柿が最初に作られた場所が本巣なので、資料館のような形の中で今言いました高木貞治さん、この方もかなり数学の高名な学者さんですけれども、そういう一体の中で展開しているので、まあもう少し今後も含めて検討していったほうが良いと思います。ちょっと繰り返しになって申し訳ないですが。

生涯学習課 課長

岐阜県の本巣市というところに、おっしゃってくださったように柿センターの中に記念館があるっていうのは知っておりまして、私が来る前ですが、市の職員も教育長も数学 WAVE 関係者も一緒に見学へ行ったことがあります。あそこは、当初はある団体が運営をしておったようですが、現在は直営で、活動自体は県を巻き込んで数学教育を進めようという動きになってきているというようなことも聞いております。私も見に行きたいなと思っておるところです。これまでの経過を申し上げましたとおり、外に新たに施設を造るというのは、今の時代なかなか難しいものがあります



し、今の国の流れといたしますか、市の流れもそうですが、学校施設との複合化、図書館とか資料館、そういうところと複合化しているところとか、老人関係施設、学校と複合しているところが全国的に増えてきているということもありますので、今回は学校との複合化という意味も含めて学校内に設置したいという提案を考えたというところ。今の段階では、生涯学習課としては、今までの紆余曲折がある中で、一旦場所を決めて進める以外、いつまでもずるずるとは、という思いもありましたので、提案させてもらったところ、市の方針として決定していただいたという経過があるので、予算要求を行ったということでございます。すみません。説明になっているかわかりませんが、以上です。

教育長

先程、吉田委員が言っていたところに、私も実際に見に行ってきました。かなり立派な展示施設、かなり予算も掛かっているようなそんな印象を受けております。また体験も出来る。そしてそこで、算数・数学教室も開催しているという内容を聞かせてもらいました。

そこまでのものを造っていくということは、本市においても難しいというのはございます。それと郷土資料館のこともご指摘いただいておりますが、そこでも全く扱わないっていうわけにはいかないと思えますし、岡潔記念館のことが話題になっておりますけれども、他にも本市には前畑秀子さん、そして応其上人、大畑才蔵さんとかたくさんおられます。だから、そういったことも扱っていかなければならないかなと思っております。けれども、面積の要件があって十分そこで資料を展示するスペースが確保出来ない。その辺りを今審議会で、どうしていくかということ協議していただいているのですが、そこそここの関係を、いろんなご意見いただきながら今後、教育委員会としてどうしていくかということはまた考えていかなければならないという課題をもっているということは認識しております。

現在、こういう形でということ先程の説明にもあったように、要求した段階ということで、今後認められて進めていくかということは、まだ決定していませんが、今日のところはこういった形でということの報告とさせていただきたいと思っております。今ご意見いただいておりますが、他にもありましたら、いただいておいて内部での検討に活かしていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

田中委員

学校の中にできる利点としまして、生徒たちが身近に感じるということがあると思うのですが、この内容では、どんな算数教室、数学教室というのが提案といたしますか考えられていることがわかりにくいので、その内容がわかれば吉田委員の意見とか皆さんの意見とか総合的に考えた上で何がいいのかという判断材料にもなるかなと思うので内容がわかったら、わかった時点で早めに教えていただきたいなと思っております。

教育長

ありがとうございます。  
他にありませんでしょうか。

中尾委員

先程生涯学習課長がおっしゃったように、これから学校との関わりといたしますか、子どもたちが減っていく、でも学校を整備していく。

その中で、やっぱり一時は門閉めて、今もちょっと外野は締め出してる、そういう嚴重なところもありましたが、これからの学校というのは開かれた学校といたしますか地域と共に歩いていく学校になっていくんじゃないかなと私は思うんです。

そういう意味では、モデルケース的になっていくようなところもあるんじゃないか

な。外と学校とが切り離されているっていう今までのイメージが結構ありましたが、足を運びやすい、地域の人たちも、市民の人たちも学校との交流が出来やすくなる一つの良い点もあるんじゃないかなということをお話の中からは感じました。

教育長

ありがとうございます。

やっぱりその点は今、共育コミュニティとかそういう部分でも進めている部分がありますので、今後も大事にしていきたいと思っております。けれども、その中には話題になっている防犯だとかっていう面との相反する面があります。そこを一定の枠組みをしっかりとっていくことが、今後こういった活動をどう展開していくかという方針につながってくるかと思っておりますので、そこのところは内部でも事務局としても整理していく必要があるのかなとそんなふうを感じているところです。

田中委員

もう一点だけ、私も吉田委員と一つ同じ意見がありまして、今後の運営をどうしていくのかということが、「長く続けていく。」っていう意味で、そこはきっちりいろんな話し合いをしていただきたいなと思います。きっと会の方も若い人がどんどん入ってくるということはないと思いますので、今後、算数に興味を持ってどんどんそういった方が増えれば良いと思うのですが、運営面のことだけはきっちりお話ししてほしいなと思います。

教育長

他にありませんでしょうか。

ないようですので、これで報告第2号を終わります。

報告事項が終わりました。続いて付議事項に入ります。

議案第1号令和3年度杉村奨学褒賞及び田中久美子すこやか褒賞受賞者の選考について、議案第2号令和3年度森脇慶一郎善行褒賞受賞者の選考についてを一括議題とします。

ご異議ありませんか。

ないようですので、そのようにします。

事務局から説明願います。

学校教育課

課長補佐

主任指導主事

資料3-1ページをお開きください。議案第1号「令和3年度杉村奨学褒賞及び田中久美子すこやか褒賞受賞者の選考について」令和3年度杉村奨学褒賞及び田中久美子すこやか褒賞受賞者の選考について、別紙のとおり委員会の議決を求める。

令和3年12月21日提出 橋本市教育委員会 教育長 今田 実

併せまして、資料4-1ページをご覧ください。

議案第2号「令和3年度森脇慶一郎善行褒賞受賞者の選考について」令和3年度森脇慶一郎善行褒賞受賞者の選考について、別紙のとおり委員会の議決を求める。

令和3年12月21日提出 橋本市教育委員会 教育長 今田 実

以上二つの議題につきまして、一括して御審議をお願いします。

推薦基準に基づきまして各校から児童生徒の推薦がございました。

推薦基準ですが、資料4-3ページをご覧ください。杉村奨学褒賞については、(1)橋本市内の中学校に在籍し、学習意欲旺盛であり向学心に燃え、意志強固な者(2)知育、徳育、体育を通して学習に精励し、他の模範となる者(3)その他特に褒賞に値すると認められる者。

森脇慶一郎善行褒賞については、(1)橋本市内の小学校・中学校に在籍し、学校生活・社会生活・家庭生活の面で、主体的に活動し、親切行為等を含め他の模範に足る事実のある者(2)学業成績は問わない(3)その他特に褒賞に値すると認められ

る者。

田中久美子すこやか褒賞については(1)橋本市内の小学校に在籍し、心身ともに健康で他の模範となる者(2)学習意欲旺盛であり、向学心に燃え、意志強固な者(3)その他特に褒賞に値すると認められる者となっております。

予め各候補者の推薦書をお送りしておりますので、一人ひとりの紹介は省かせていただきますが、各校から推薦されました児童生徒につきまして、一括してご審議のほど宜しくをお願いします。

教育長

説明が終わりました。

議案第1号及び議案第2号について、ご質問・ご意見はありませんか。

簗下委員

感想ですけれども、この書かれてある推薦文を見まして、児童生徒の日頃の頑張りがよくわかりました。一生懸命スポーツであるとか学習、児童会生徒会活動に取り組んでいるという姿がよくわかって、本当に見本となってくれる子どもたちがたくさんいるのだなということがよくわかりました。そんな感想をもちました。以上です。

教育長

ありがとうございます。

暫時休憩します。

それでは再開します。

他にご質問、ご意見はありませんか。

中尾委員

子どもたちが一生懸命学校で励んでいる様子がよくわかりました。それと同時にこういうのを読ませていただいて各学校の特色的なことも出てきて、とても私としては参考になって読ませていただきました。

教育長

ありがとうございます。

他にありませんか。

田中委員

毎年同じ感想ですが、読ませていただいて嬉しく思うことと、また、先生方がきめ細やかに生徒のことを見てくださっているということがよくわかる資料だったと思います。嬉しく思いました。

教育長

ありがとうございます。

他にありませんか。

ないようですので、議案第1号及び議案第2号について原案のとおり決することにご異議ありませんか。

異議なしと認めます。議案第1号及び議案第2号は原案のとおり決しました。

次に、その他の協議事項に入ります。

まず、事務局から何かありませんか。

次に、委員の皆様から何かありませんか。

簗下委員

元信太小学校のいろんなイベントの情報ですけれども、今 SHINODA BASE っていう、校門にタイトルをつけて表札のような形で表示されています。もうキャンプ場として今、活用されているのですが、今月の25日、26日と、クリスマスイベントをする予定です。こういうチラシが信太地域にポスティングされてまして、教室でキャンプ体験、テントやキャンプグッズを用意して、運動場で焚き火体験とか折り紙体験とか

スーパーボールすくい、それからヨーヨーとか輪投げとか、お菓子の販売とか、ハンドベル演奏なんかもあるようです。そういうイベントをして地域と交流していこうというような取り組みを、ここがやってくれると、そんなふうにも活用されておりますので、ちょっとお知らせですけれどもしたいと思います。

教育長 情報提供ありがとうございます。何かご質問等ありませんか。  
そのチラシはその会社がポスティングされてるのでしょうか。

簗下委員 はい。

教育長 ありがとうございます。  
他にありませんか。  
会社自身としては、地域のことをすごく意識して友好的にいろんなことを進めていただいているというのを私自身はすごく感じます。  
続いて、連絡事項に入ります。  
まず、事務局からありませんか。

教育総務課 会議の日程のご案内です。まず、定例会の日程のご案内です。  
課長補佐 来年の1月の定例会ですけども、令和4年1月21日の金曜日、9時半から、教育文化会館4階第5展示室、この部屋で開きたいと思います。  
そして、令和4年2月の定例会の日程です。2月の定例会は、今年3月議会が少し早く行われる形になりますので、定例会のほうですけども、令和4年の2月の8日、ちょっと早いですがけれども、2月の8日の火曜日、13時30分から、この部屋4階第5展示室で開催させていただきたいと思います。よろしくお願ひします。定例会の日程は以上です。  
そして、先程の議案にありました三つの褒賞の授与式が、2月2日に挙行予定であります。また、毎年同じ日に挙行しております教育功労者表彰式も同じ2月2日に予定しております。  
ただ、コロナウィルス、最近は感染者も一時より抑えられていますが、変異ウィルスもあり、今後も予断を許さない状況ですので引き続き、感染対策として式の出席者を出来るだけ少人数で挙行させていただきたく、教育委員の皆様にはご案内、ご臨席のお願いはいたしませんので、ご理解お願いいたします。以上です。

教育長 そしたらそのようによろしくお願ひいたします。  
次に、委員の皆様から何かありませんか。  
ないようですので、以上で12月定例会を終了します。  
お疲れさまでした。

閉会 午前10時27分

署 名 委 員